2022年度 日本工学院専門学校											
建築学科											
高度建築計画											
対象	3年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	瀧川 慧			実務経験	有	職種	建築設計/一級建築士				
担当教員紹介											
ゼネコンにて、医療施設・商業施設・集合住宅等の意匠設計業務に従事したのち、大学での助手を経て教師になる。建築設計やBIMを担当し、VR・AR等様々な最新技術を取り入れた教育を実践する。											
授業概要											
建築計画の主流を復習しながら、さらに深く学習を進めていく。建築計画において、特に現代建築について様々な事例を基にして学習をする。最終的には、世界の現代建築の潮流とこれからの日本の建築について学ぶことを学習目的とする。											
到達目標											
この科目では、上記の講義を基にして、建築を知らない人にも、現代建築の潮流については、少しでも自分の言葉で論ずることができることを到達目標としている。											
授業方法											
<ul style="list-style-type: none"> 基本操作を学ぶ回では、教員が解説を行い、学生は解説と同じように作業を行う 解説と作業を繰り返し行い、スキルを身に着ける 応用回では、今まで身に着けたスキルを用いて、各自モデリングを行う 動画等を用いて、最新技術の紹介を行う 											
成績評価方法											
試験・課題	50%	試験と課題を総合的に評価する									
小テスト	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
レポート	10%	授業内容の理解度を確認するために実施する									
成果発表（口頭・実技）	20%	授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する									
平常点	10%	積極的な授業参加度、授業態度によって評価する									
履修上の注意											
授業で使用されるデータは各自USBメモリやクラウドなどによって適切に管理すること。説明中や授業と関係のない私語、受講態度などには厳しく対応する。理由のない遅刻や欠席は認めない。課題提出はデータにより行い、コピーなどによる不正な提出データはカンニング扱いとし採点されない。授業時数の4分の3以上出席しない者は単位取得することができない。											
教科書教材											
資料など配布											
回数	授業計画										
第1回	イントロダクション 建築の根源的意味とコンセプト										
第2回	住宅 住宅 食寝分離、個室からの脱却、シルバーハット										
第3回	集合住宅 集合住宅 脱NLDKスタイル、岐阜県営団地妹島和世棟										
第4回	集合住宅 集まって住むということ、地域社会兼モデル										
第5回	商業建築 オフィスビル他 レンダブル比と建築計画上の構成、乃村工藝社本社ビル、ロイズオブロンドン										

2022年度 日本工学院専門学校	
建築学科	
高度建築計画	
第6回	劇場 コンペティション 劇場の構成とコンペティションによる開かれたホール、小田原城下町ホールコンペ
第7回	公共施設について 開かれた行政機関を目指して 他
第8回	美術館 美術館 一筆書きからの脱出、21世紀美術館、青森県立美術館
第9回	図書館 コンピューターの出現と居場所を作る。 仙台メディアテーク
第10回	学校 まちの延長としての学校、打瀬小学校
第11回	体育館 国立代々木屋内競技場
第12回	世界の潮流 世界の建築の潮流
第13回	これからの建築について 最新建築技術紹介・日本の建築のこれから